

# 雲北陵月報

No. 408

令和元年8月30日  
出雲北陵中学高等学校  
土江明文社 印刷

## 北陵生 令和初の夏に名を残す!!

### 中・高なぎなた部

#### 団体戦 見事初優勝!

#### 第27回全国中学生なぎなた大会

時 7月27・28日  
於 福井県立武道館

〔演技競技の部〕

川上友風(中2) 2回戦敗退

豊田詩月(中3) 2回戦敗退

〔個人試合の部〕

豊田詩月 2回戦敗退

〔団体試合の部〕

決勝 出雲北陵 1-0 武陵館(福井)

〔出場メンバー〕

豊田・川上・福岡日南子(中2)・手銭優果(中2)

○大会総評

演技・個人は2回戦敗退となったが、団体で初優勝することができた。これも平素一緒に稽古してくれている高校生の方が大きかったと思う。また、応援し支えてくださった保護者の皆様や先生方のおかげです。有難うございました。



初優勝を飾ったメンバー

#### 全国高等学校総合体育大会

時 8月10~12日  
於 沖縄県立武道館

〔演技競技の部〕

日野愛理(32歳)・森本あか音(25歳) 予選リーグ敗退

玉木羅夢(23歳)・杉山華織(15歳) 予選リーグ敗退

〔個人試合の部〕

森本あか音 決勝T2回戦敗退

玉木羅夢 予選リーグ敗退

〔団体試合の部〕 予選リーグ敗退

○大会総評

団体は4人で挑み、1勝1敗で惜しくも予選リーグ敗退となったが、1勝できたことは選手の実力の成果だと思ふ。個人では森本が決勝Tまで勝ち残ったが、地元沖縄の選手に敗れた。入賞なしの大会となり悔しい思いもあるが、団体に向け気持ちを切り替えて稽古に励みたい。

(顧問 井上美代)

### 卓球部

#### 第88回全国高等学校卓球選手権大会

時 8月15~20日  
於 鹿児島アリーナ

〔男子団体〕 2回戦敗退

〔男子シングルス〕

ベスト16 山本 歩(22歳)

3回戦敗退 原田哲多(14歳)

2回戦敗退 山本駿介(32歳)

井上友希(33歳)



10年連続出場校表彰

〔男子ダブルス〕  
3回戦敗退 山本駿介・山本 歩組  
2回戦敗退 井上友希・武 凱(32歳)組  
○大会総評  
団体戦とダブルスは全国の厚い壁に阻まれ上位進出はならなかったものの、シングルスで山本歩が本校としては初めてとなる16強入り(ランキング13位)を果たした。この結果を受けて、山本は昨年に続き11月に開催される日韓交流大会の日本代表に選出された。今後も今まで以上に厳しい練習に取り組み、インターハイで明確となった課題を克服できるよう日々精進していきたい。



シングルス16強の山本歩

(顧問 古瀬泰之)

### ソフトテニス部

#### 全国高等学校総合体育大会

時 7月26~28日  
於 宮崎生き目の杜テニスコート

個人戦

ベスト64 今岡純也(34歳)・日野坪雄大(33歳)

2回戦 今岡・日野坪 ④-① 埼玉県ペア

3回戦 今岡・日野坪 ④-① 宮城県ペア

4回戦 今岡・日野坪 ④-① 福岡県ペア

今岡・矢田 ④-① 岐阜県ペア

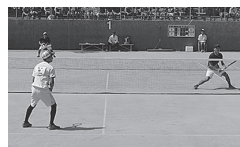
今岡・日野坪 ④-① 岐阜県ペア

今岡・矢田 ④-① 奈良県ペア

○大会総評

厳しいドローであったが、4人ともよく頑張ったと思う。最後はシードペアに敗れたが、全国でも勝負できることを後輩に伝えてくれた。多くの方に応援いただき有難うございました。

(顧問 佐々木雄志)



### 男子バスケットボール部

#### 全国高等学校総合体育大会

時 7月28日  
於 サンアリーナせんだい

本校 78-108

延岡学園(宮崎県)

○大会総評  
相手は外国人留学生を擁し、全国大会でも優勝経験のあるチームであった。前半からの取り合いとなり、本校も相手チームの高さに負けず得点を重ねたが、徐々に相手のペースで試合が進み、初戦突破はならなかった。今後はウインターカップを目指し、リベンジを果たしたい。  
最後になりましたが、校長先生をはじめ、保護者の皆様、女子バスケットボール部、中学バスケットボール部、その他多くの方々からご声援をいただき誠に有難うございました。



○大会総評

### 写真部

#### 写真甲子園本戦大会

#### 優秀賞と特別賞をダブル受賞!

#### 全国3位入賞の快挙!

7月29日から8月4日にかけて北海道で行われた第26回全国高等学校写真選手権大会「写真甲子園」本戦大会に、本校から福島悠太(31歳)、北脇武恭(31歳)、角田翔大(21歳)の3名が出場し、全国3位入賞である優秀賞、そしてファイナルステージでの特別賞をダブル受賞した。これもひとえに日頃から支えてくださっている皆さんのおかげである。心より感謝している。応援有難うございました。

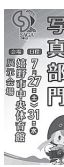


(顧問 村上 学)

### 第43回全国高校総合文化祭

#### 文化連盟賞受賞!

時 7月27~30日  
於 佐賀県嬉野市



各都道府県から推薦された優秀作品とその撮影者が、佐賀県嬉野市に集まった。島根県代表の一人に、吾郷真菜(32歳)が選ばれ、文化連盟賞を受賞した。

(顧問 妹尾一希)

### 吹奏楽部

#### 最優秀賞！中国大会への出場が決定

第60回全日本吹奏楽コンクール島根県大会  
於 出雲市民会館大ホール

【高等学校フリーの部】

日時 8月3日(土)

曲目 あかつきの舞／福田洋介

【高等学校Aの部】

日時 8月4日(日)

曲目 課題曲：V ビスマス・サイケデリア

自由曲：「ガイナ」第1組曲より

／A・ハチャトウリアン

8月3・4日に出雲市民会館大ホールにて標記大会が開催された。毎年出場している高等学校Aの部に加え、本年度は本校として初めて高等学校フリーの部へも参加した。生徒達はそれぞれのチームも普段どおりの落ち着いた雰囲気、北陵らしい音色と表現力溢れる演奏をし、観客を魅了した。結果、フリーの部は金賞を受賞、Aの部では金賞、最優秀賞を受賞して中国大会への出場権を得ることができた。

(顧問 竹内康貴)

### 合唱部

#### 両大会で中国大会への出場が決定

第86回NHK全国学校音楽コンクール島根コンクール

時 8月6日

於 大田市民会館

標記コンクールに出場し金賞を受賞、9月に広島県廿日市市で行われる中国プロックコンクールへの出場が決まった。当日、生徒達はこれまでの練習の成果を発揮し、素晴らしい演奏を披露した。次のステージに立てるチャンスを得たので、この結果に満足することなく、聴いている方々に感動を届けた。さらなる演奏を目指し、更に精進していきたいと思う。



標記コンクールに出場し金賞を受賞、9月に広島県廿日市市で行われる中国プロックコンクールへの出場が決まった。当日、生徒達はこれまでの練習の成果を発揮し、素晴らしい演奏を披露した。次のステージに立てるチャンスを得たので、この結果に満足することなく、聴いている方々に感動を届けた。さらなる演奏を目指し、更に精進していきたいと思う。

### 第58回島根県合唱コンクール

時 8月18日

於 松江市総合文化センタープラバホール

NHKコンクールに続いて合唱連盟主催の大会へ出場し、高等学校Aグループにおいて金賞を受賞、中国大会への出場権を得た。演奏作品は大会によって異なるため、短時間で調整をしなければならない不安を抱えながらも、生徒達は高い集中力を持って舞台へ挑んだ。まだまだ課題は多く残っているが、それぞれの県大会で得た経験は大きな力や自信に繋がっているように感じられる。更なる高みを目指して精進していきたい。

(顧問 太田裕子)

### ソフトテニス部

#### 団体戦 準優勝！

第62回 中国高校ソフトテニス選手権大会

時 7月12～14日

於 宇部市中央公園テニスコート

2回戦 本校 ②-1 倉敷南  
準々決勝 本校 ②-1 明誠学院  
決勝 本校 ②-1 東岡山工業  
準決勝 本校 0-2 岡山理大附  
(団体メンバー)

今岡純也・日野坪雄大・福島悠馬(32歳)

矢田和真(34歳)・白築椋真(25歳)・安田稜

(25歳)・山崎陽登(25歳)・杉本啓佑(25歳)

個人戦

ベスト16 福島悠馬・矢田和真ペア

安田稜・白築椋真ペア

ベスト32 今岡純也・日野坪雄大ペア

山崎陽登・杉本啓佑ペア

○大会総評  
団体戦では創部以来最高の成績を取った。団体でのインターハイ出場は逃したが、中国大会優勝を目標にここまでよく頑張ったと思う。後輩はこの経験を生かし、今後で繋げて欲しい。遠方まで応援に来てくださった保護者の皆様、有難うございました。

(顧問 佐々木雄志)



○大会総評  
団体戦では創部以来最高の成績を取った。団体でのインターハイ出場は逃したが、中国大会優勝を目標にここまでよく頑張ったと思う。後輩はこの経験を生かし、今後で繋げて欲しい。遠方まで応援に来てくださった保護者の皆様、有難うございました。

### なぎなた部

第74回国民体育大会中国ブロック大会なぎなた競技

時 7月21日

於 カミアリーナ

【結果】1位 4勝0敗 茨城国体出場決定  
【出場選手】日野愛理・森本あか音・玉木羅夢  
予選1位で本大会出場権を獲得した。これから成年選手とともに国体での活躍を胸に稽古に励みたい。

(顧問 井上美代)

### ソフトテニス部

第74回国民体育大会中国ブロック大会ソフトテニス競技

時 8月16～18日

於 松江市宮庭球場

島根県 ③-1 広島県  
島根県 ③-1 鳥取県  
3勝1敗の2位で茨城国体出場決定

○大会総評  
日野坪雄大が5名の島根県選抜の一員として出場。ダブルスに出場し、4戦全勝で突破に貢献した。茨城国体での活躍を期待している。

(顧問 佐々木雄志)

### 男子バスケットボール部

第74回国民体育大会中国ブロック大会バスケットボール競技

時 8月17・18日

於 カミアリーナ

代表選手 郷原隼人(35歳)  
成年男子 中島龍馬(16歳)・遠藤莉樹(12歳)  
少年男子 濱井倫彦(15歳)

成年の部 男子1勝3敗

少年の部 男子3勝1敗

少年女子 島根県 54-68 岡山県  
島根県 59-86 広島県  
島根県 48-70 山口県  
島根県 68-73 鳥取県

0勝4敗 第5位

出場選手 大塚成実(14歳)、春日美津紀(13歳)

### 野球部

第101回全国高等学校野球選手権島根大会

於 津市民球場

2回戦 松江高専 00000  
出雲北陵 32113x 100

3回戦 出雲北陵 000000  
石見智翠館 002404x 100

本校としては、8年振りとなる初戦突破を果たした。試合当日は応援団をはじめ、運動部有志生徒より、大きな声援をいただいた。その結果、1勝を手にすることができた。2回戦で敗れてしまったが、3年生にとつては思い出となる夏となった。最後になりましたが、遠路多くの生徒諸君に応援に来ていただき誠に有難うございました。

(顧問 陶山浩史)



初戦突破し校歌を歌う選手

本校としては、8年振りとなる初戦突破を果たした。試合当日は応援団をはじめ、運動部有志生徒より、大きな声援をいただいた。その結果、1勝を手にすることができた。2回戦で敗れてしまったが、3年生にとつては思い出となる夏となった。最後になりましたが、遠路多くの生徒諸君に応援に来ていただき誠に有難うございました。

### テニス部

中国ジュニアテニス選手権大会

時 7月17日

於 安来運動公園

(18歳以下男子シングルス)  
1回戦 岡航輔(35歳)・渡部(松江高専)  
0-2 橋田・藤井(岡山理大附)

### 学校周辺クリーン大作戦実施

今年も教職員による奉仕作業を7月23・26日の両日に実施した。暑い中ではあったが、溝掃除を中心に作業した。普段、掃除できないような場所を念入りに掃除することができ、クリーン大作戦は成功した。

### 令和元年度 学校開放美術講座

時 7月13日、8月3日

於 本校美術棟

令和元年度の学校開放美術講座を実施した。7月13日の中学生対象には6校、15名の参加があった。今回の講座は、ペンタブレットというイラスト用の入力装置を使って、写真を見ながらイラストを描くという内容だった。参加者は楽しみながら充実した時間を過ごした。

また、8月3日には一般対象の講座を行った。3時間という短い時間だったが、花や鳥といったモチーフを油絵で描いた。参加者は集中して描かれ、良い体験をしていただけたと思う。

**第1回 オープンキャンパス開催**

8月20日に本年度第1回オープンキャンパスを開催した。



当日は授業体験や受験講座、部活動体験や入学相談コーナーを設けたが、小中学生や保護者の方々など、600名近くの来校者があり賑やかな一日となった。

参加いただいた皆様には、本校の教育内容や施設などを分かっていたただけだのではないかと思う。

**第19回 いずもアートコンクール**



より参加があった。結果は次の通り。

最優秀賞 新井ふわりさん(北)

優秀賞 小林沙輝さん(北)

審査員特別賞 園山寧々さん(北)

森山百合香さん(北)

須田杏月さん(北)

**第17回 中学生ワークショップコンテスト**



本校マルチメディアルームで15名の参加があり、それぞれが日頃の練習の成果を発揮すべく、集中して競技に取り組んだ。優勝された渡部稜さん(北)は898ストロークという素晴らしい成績だった。参加された皆さんには、今後もレベルアップを図っていただければと思う。結果は次の通り。

- 1位 渡部 稜さん(北)
- 2位 原 蒼天さん(北)
- 3位 板垣蒼汰さん(北)

- 4位 森口裕太さん(北)
- 5位 川上将摩さん(北)
- 正確賞 山崎颯風さん(北)

**インターアクト地区大会**

7月20・21日 県立青少年の家

第43回インターアクト地区大会があり、本校から生徒3名が参加した。

岡山・鳥取・島根にインターアクトクラブは18あり、日頃の活動状況の報告や情報交換などを班別会議や全体会で行った。

また、松江歴史館長の藤岡大拙氏の講演や国宝松江城とその周辺の散策もあり、松江の歴史や文化を再認識できた。

**留学生タリーさん来校**

7月18日、昨年度第1学期の間、本校に在籍したオーストラリアからの留学生タリー・マリンスさんが来校した。マリンスさんは現在高校2年生で、今回は家族と一緒に日本を訪れた。日本での滞在期間は3週間、出雲には1週間いたそうである。滞在中は昨年お世話になったホストファミリーの原さんとも一緒に過ごした。本校では在籍した旧1年5組のみならず、などの久しぶりの再会に喜び、話しに花を咲かせていた。



**ダンス同好会**

夏の「鳶巣まつり」でコラボダンス



今年、鳶巣コミュニティセンターのほかに、鳶巣コミュニティセンターの方々とコラボして踊った。昨年流行したU.S.Aの楽曲に合わせて、観客の方や参加者の方も巻き込み会場を盛り上げた。また、盆踊りや林木音頭にも参加し、会場の人々との一体感を味わった。(顧問 八木世津子)

**中学校**

**卓球部**

**第53回 島根県中学校総合体育大会**

7月21・22日 松江市総合体育館

男子団体 優勝 (5年連続8回目)

優勝 杉浦大和(北)

2位 小野泰和(北)

3位 佐藤卓斗(中)

**第44回 中国中学校卓球選手権大会**

8月7・9日 カミアリーナ

男子団体 3位 小野泰和

男子個人 10位 杉浦大和

**第50回 全国中学校卓球大会**

8月20・23日 ウカルちゃんアリーナ

男子団体 予選リーグ 一勝一敗

本校 5-0 聖徳(滋賀)

本校 0-5 中間東(福岡)

男子個人 2回戦敗退 杉浦大和

1回戦敗退 小野泰和

大会総評 三年生にとって最後の夏は堂々たる戦いぶりだった。悔しい結果ではあるが、選手にとって今後の競技人生の糧となる大会となった。(顧問 相場翔太)

**女子バスケットボール部**

**第53回 島根県中学校総合体育大会**

7月24・26日 松江市総合体育館

2回戦 本校 54-35 松江二

準決勝 本校 83-56 浜田二

準決勝 本校 63-46 益田

決勝 本校 50-59 松江一

2位(中国大会出場)

**第49回 中国中学校バスケットボール選手権大会**

8月7・9日 広島県立総合体育館

予選リーグ 本校 62-63 国泰寺(広島)

本校 56-65 就実(岡山)

2戦2敗 予選敗退

大会総評 初戦の国泰寺との対戦では前半リードするも、後半追いつかれ逆転された。最後の最後まで勝敗の行方が分からない状態であったが、延長の末、敗れてしまった。続く就実との対戦でも最後まで本校らしい粘り強さが見られたが、残念な結果となった。終わりに、遠路にも関わらず応援に駆けつけてくださった保護者の皆様に感謝申し上げます。(顧問 篠原勝利)

大会総評 初戦の国泰寺との対戦では前半リードするも、後半追いつかれ逆転された。最後の最後まで勝敗の行方が分からない状態であったが、延長の末、敗れてしまった。続く就実との対戦でも最後まで本校らしい粘り強さが見られたが、残念な結果となった。終わりに、遠路にも関わらず応援に駆けつけてくださった保護者の皆様に感謝申し上げます。(顧問 篠原勝利)

**テニス部**

**第53回 島根県中学校総合体育大会**

7月24日 開星高校

男子団体 2回戦 本校 3-2 島大附属中

決勝戦 本校 0-3 湖南中

**全国中学生テニス選手権中国予選**

7月14日 びんご運動公園

男子ダブルス 1回戦 嘉本健太(北) 石川泰至(北)

1-8 谷口・山田(山口)・立川中

**「夏休み学習応援教室」開催**

8月1・2日、学習応援教室を開催し、オリジナル土器作り、読書感想文、おもしろ画像、紙飛行機作りといったコーナーを設け、市内の小学生にたくさん参加していただいた。



縄文式土器もどきの作品を作った人、トリックアートで傑作を作った人、滞空時間や距離を伸ばそうと何度も紙飛行機を折っていた人など、それぞれに楽しんでいただけた。両日とも賑やかな一日となった。

## 作品と研究

高校1年生の国語総合で芥川龍之介作『羅生門』を学びました。この小説は、「下人の行方は、誰も知らない。」という一文で終わっています。この印象的なラストは、いつの時代にも読者の想像力をかきたててきました。夜の底へかけ降りていった下人は、老婆は、どうなったのか。生徒達が『羅生門』のその後を創作しました。

松井 悠汰(15歳)

その後老婆は自分の暮らしや世の中に対して諦めと絶望的な気持ちを持つた。しかし、このまま飢え死にするわけにはいかないと、なんとか気持ち奮い立たせ、ゆつくりとはしごを降りた。そして光一つない真つ暗な夜道を歩き出した。

雨で濡れた体を引きずるように歩こうちに辺りがだんだんと明るくなってきた。すると遠くの方から馬に乗って僧がやってきた。その僧は京都の様子を見るために旅をしている者であった。僧はあまりにもひどい老婆の姿を見てかわいそうとも思っただろう。荷物から着物を取り出して老婆へ渡した。老婆は着物を着て行くあてもないまま再び歩き出

した。

その日の夜、老婆は一晚過ぎための場所を探していた。すると、遠くにひどく荒らされた寺が見えた。老婆はそこで一晚過ごそうと考えた。寺に近づいていくと、その寺にも羅生門と同じように死体が転がっていた。老婆は死体から小刀を抜き取り、着物の懐に隠した。

奥へ進んでいくと、誰かが火をともしている。老婆は建物で身を隠して様子を見ることができた。すると、まだ幼い少年が、死体の着物を剥ぎとっている光景が見えた。老婆は羅生門で出会った男にされたことを思い出し、その胸の中に激しい怒りが生まれた。老婆の心の中にはその感情しかなかった。

老婆は小刀を持ち、少年に飛びかかった。老婆は問いかけた。

「ここで何をしていた？」

少年は驚きと恐怖に満ちた声で答えた。

「この死体の男は飢え死にしないために他人の家の金品を奪った。俺だつて今、飢え死にする体なのだから、しかたなく引剥ぎをするのだ。このしかたがないことをよく知っているこの男は、俺がすることも大目に見てくれるだろう。」

その話を聞いた老婆は思わず笑みを浮かべた。

久家 鈴(15歳)

ある日の暮れ方のことである。ひとりの少年が、羅生門の下で雨やみを待っていた。広い門の下でまだ雨は止まぬかと上を見上げていた。

どれくらい経つただろうか。気づくと日は沈み、外はすっかり暗くなっていた。しかし雨はよりいっそう強さを増し、羅生門の屋根を潰してしまふのではないかという程に叩きつけていた。もう諦めてここで一晚を過ごそうかと考えていると、気品の良い一人の男がやってきた。こんな酷い雨の日になぜだろうと疑問に思っていると、男が口を開いた。

「ここで何をしている。」

無表情な口調で放った言葉は少年の背中を冷たく走った。ここで答えなければどうなってしまうのだろうかという恐怖心で、考えるより先に行動を起こした。

「雨、止まないから。」

この大雨の中、聞こえるか分からないくらいの声で呟いた。男の反応がどんなものだろうと気になったが、顔を見る勇氣も出さず、膝に顔を伏せた。

突然、男が笑い始めた。こんな暗がりでは何かおかしいのかと異様な空気に寒気を感じた。

「悪い、悪い。おまえを見てみるとまるで昨日のこのように悪い思い

出が蘇ってきてな。あの時の俺は間違ったことを正しいと決め込んでいたんだ。おまえがああの上に登る勇氣があるとは思わんが、雨が止むまでここにいろ。なあに、もう少しの辛抱さ。」

男の言っていることが全く分からなかったが、雨足が弱まったことのほうが大切だった。男のほうは濡れてでも帰るようだ。帰り際にこんなことを言った。

「誠実に生きろ、少年。」

しばらくぼけっと突っ立っていたが、思い出したかのようにふらつと帰路についた。

あの男は誰だったか。

そういえば、にきびの跡が残っていたような……。

今月の  
1枚

「揺らめき」

原 英寿(32歳)

